

あなたの子どもは大丈夫？！

子どもを狙った性犯罪が後を絶ちません。
加害者はどのように子どもにアプローチしてきているか知っていますか？

わいせつな目的を隠し、普通の人へのふりをして子どもと信頼関係を築きあげ、油断をさせ、手なずけていく「グルーミング」という手法です。

- SNSを通じて徐々に子どもの信頼を得た上で、会う約束をするなどして性交に及ぶケース
- 子どもと近い関係にある者が、子どもの肩を揉むといった行為から始め、断りにくくさせたうえで徐々に体に触れるケース
- 子どもと面識のない者が、公園などで子どもに声をかけ徐々に親しくなるケースなどが主な手口です。

グルーミングはもともと「毛づくろい」の意味をもつ言葉。
グルーミングの被害は対面、オンラインの両方で起こりえます。



<幼児期～小学校低学年>

何をされているか理解できず、大人の行為が性加害と気づきにくい。学年が上がると「知らない人に付いていかない」など教わりますが、よく知っている信頼する大人が怪しい動きをしても、「いつも優しくしてくれる人だから」と信じ切ってしまうのです。

<小学校高学年～中学生>

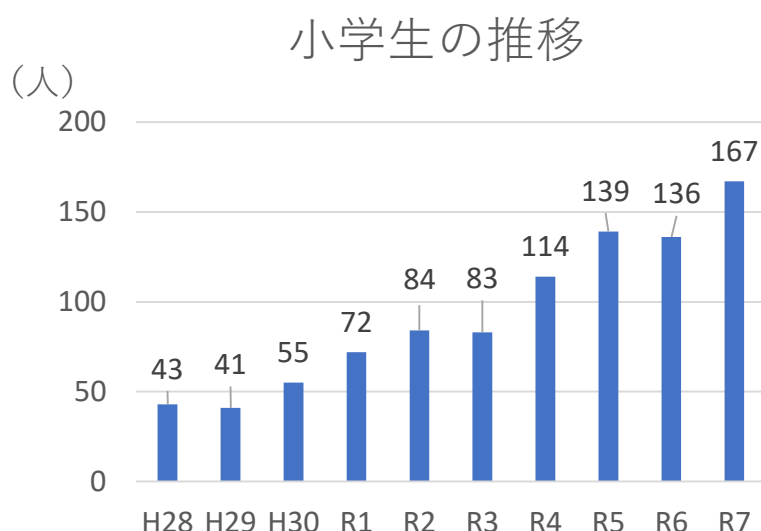
学校、塾、習い事の先生など、恋愛だと思い込まされ被害者になることもあります。嫌だと思ったら逃げられる場合もあります。ですが、相手に不快感を表しても「君は特別だ」「期待している」と、うまく取りこみ、加害者は「特別だから家族や友達には内緒」と必ず口止めをします。

子どもは信頼する大人の期待に応えなければと思い、約束を守ろうとします。性被害を恋愛だと思い込んだまま、長い期間、関係が続いてしまうケースもあります。

子どももスマホを持つ時代になり、被害者の年齢は年々下がる傾向にあります。

SNSに起因する事犯の被害者児童数から、小学生のみの人数を抜き取りました。小学生については、前年より2割増加し、過去10年で最多になります。

小学生被害について年齢別では11歳が一番多く、罪種別では不同意わいせつが最多となっています。



※警察庁「令和7年における少年非行及び子供の性被害の状況」を基に作成

※SNSとは、本統計では、通信ゲームを含み、届出のある出会い系サイトを除いたもの
※SNSに起因する事犯とは、SNSを通じて面識のない被疑者と被害児童が知り合い、交際や知人関係等に発展する前に被害にあった事犯

子どもがもし、被害にあった時、知識がないと何が起きているのか理解できず、逃げることもできない可能性があります。

誰かがプライベートゾーンを見たり触ろうとしてきたら「やめて」と言っていていいし、周囲の大人に助けを求めてもいい。

もし、逃げるができなくても、「あなたは悪くない、悪いのはそういうことをする人。後からでも起きたことを伝えてね」ということを伝えてください。



性教育は
子どもを加害者にも被害者にもしない、させない
ためのもの

ネットを使えば簡単に動画やSNSにアクセスできてしまい、間違った性の情報を鵜呑みにしてしまう危険もあります。

幼児期から
プライベートゾーン（口、胸、お尻、性器）の大切さや
自分の身を守るための
NO「イヤだ」
GO「逃げる」
TELL「信頼できる大人に相談する」
などから、少しずつ伝えてみてください。



さくらであい館展望塔を紫色にライトアップします。
「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11月12日～11月25日)

女性相談窓口

一般相談

月曜日～金曜日（土・日・祝日・年末年始を除く）

午前10時～正午

午後1時～午後5時（最終受付は午後4時まで）

面接相談と電話相談があります。

（いずれの相談も、1人1日1回）

♪女性からの様々なご相談に応じます。

♪予約は必要ありません。

専門相談

毎月第2・4の木曜日（祝日の場合は変更）

午後1時30分～午後4時20分

面接相談です。

（いずれの相談も、1人1日1回・50分）

♪フェミニストカウンセラーが相談に応じます。

♪事前に予約が必要です。（1日3名まで）

女性のための弁護士相談

原則毎月第4火曜日（祝日の場合は変更）

午後1時30分～午後3時20分（1人30分）

場所 文化センター2階会議室

♪事前に予約が必要です（毎月初めに予約開始）

八幡人権・交流センター窓口または相談専用電話

（午前10時～正午・午後1時～午後4時）

場所：八幡人権・交流センター

（八幡市八幡軸63番地）

TEL 075-983-1784（相談専用電話）